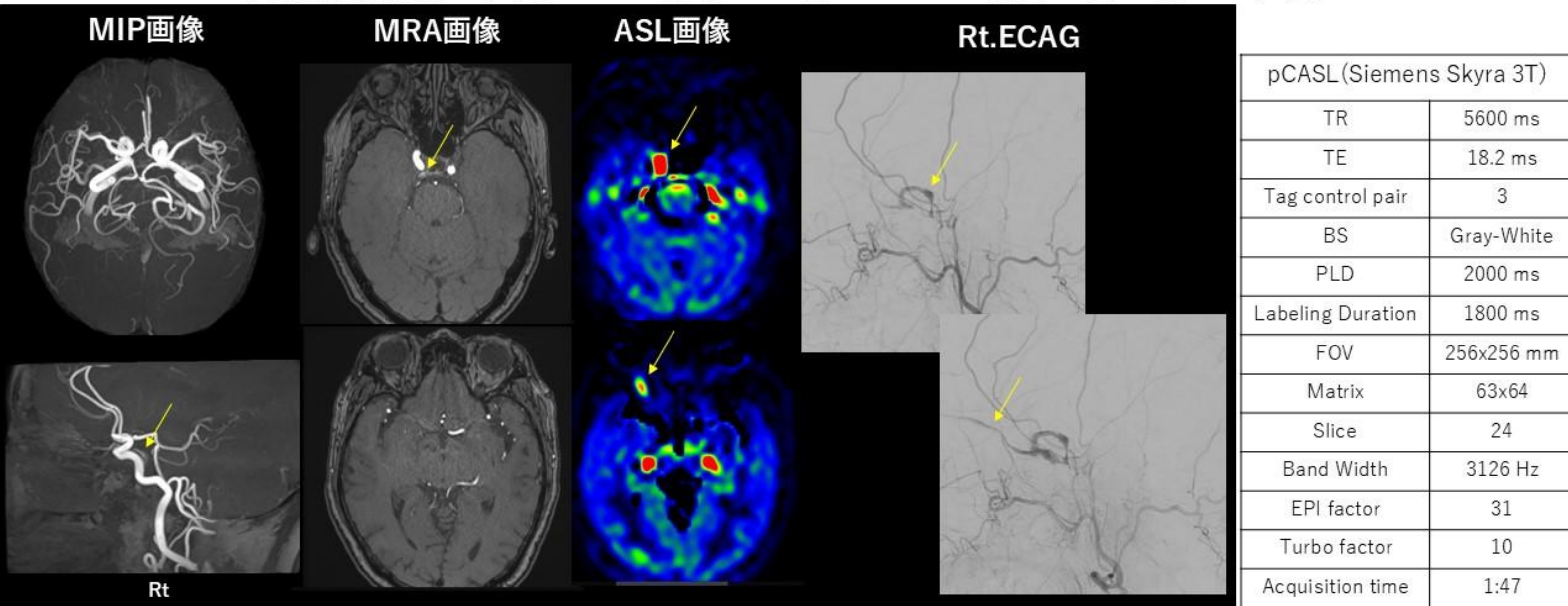


海綿静脈洞部の軽度in-flow効果と一致してASLで信号上昇を認めた症例



60歳代女性。1か月前から右眼痛、右眼球突出あり。

MRAにて右海綿静脈洞部にごく僅かなin-flow効果を認めた。シャント疾患の可能性を否定できなかったためASL(pCASL)を撮像したところ、右海綿静脈洞後部と右上眼静脈に一致して眼窩内に信号上昇を認めた。右上眼静脈への逆流を伴う右海綿静脈洞部動静脈奇形の可能性を考え、後日、脳血管撮影を施行したところ、MMA cavernous sinus branch, Artery of foramen rotundumをfeederとする右海綿静脈洞部硬膜動静脈瘻 (Borden type 1)と診断された。MRAで判別が難しかったAVFを、ASLで同定できた一例だった。